

学校図書館担当職員・図書委員・図書ボランティアによる読書の輪
～それぞれの立場で工夫し、図書室を集いの場・憩いの場へ～

盛岡市立城東中学校

目的
趣旨

学校図書担当職員による「いわての中高生のためのおすすめ図書100選」コーナーの設置、紹介及び説明、図書委員による新1年生への貸し出しの説明、図書ボランティアによる環境整備と読み聞かせ会の実施等により、図書室を中学生の集いの場・憩いの場とする。

対象

全校 210人



学校・児童・生徒の様子

全校生徒210名の城東中学校は、盛岡市の中心部に近く、公立や私設の図書館のほか、書店も多く、読書環境に恵まれた地域です。

しかし、多くの中学校と同様に、部活動や学習など多忙な毎日のため、読書時間の確保が難しい生徒が多い現状です。

そんな中、学校図書担当職員や図書委員、図書ボランティア等がそれぞれの立場で工夫し、図書室が集いの場・憩いの場となるよう様々な活動を展開しています。

- 「いわ100」コーナーの設置
- 新1年生へ「いわ100」の紹介
- 環境整備と読み聞かせ会の実施



【図書室入口と「いわ100」コーナー】

取組概要

学校図書担当職員が中心となって、「いわ100」や「教科書に出てくる本」、「朝読書におすすめ」コーナーなどを設置し、図書室の環境整備をしています。

図書委員は、毎年4月に新1年生へ図書貸し出しの説明をしています。その中で「いわ100」を紹介し、その場で、全員に「いわ100」を配布しています。また、図書委員がお薦めの本を紹介する小冊子を作成し各学級に配布したり、ポップを作成したりして、図書室が集いの場となるよう様々な工夫をしています。

図書ボランティアは、月1,2回のペースで活動を行い、季節に合わせた掲示物を作成や企画展示を行い、図書室が憩いの場となるよう取り組んでいます。また、図書ボランティアによる中学生への「読み聞かせ会(50分間)」も年1回実施し、子どもと大人が楽しい時間を共有しています。



【図書委員によるお薦め本を紹介する小冊子】



【ボランティアによる企画展「戦後70年」】



【「読み聞かせ会」に向けて学習会】

● 学校から（取組の成果と今後について）

学校図書担当職員、図書委員、図書ボランティア等がそれぞれの立場で工夫し様々な活動を展開することにより、図書室に中学生が日常的に足を運ぶようになり、図書室が集いの場・憩いの場となっています。今後は、生徒と図書ボランティアとの交流をより深め、読書の輪をさらに広げることが目標です。